

R8.9.14 2040年に向けた看護職員の養成・確保の在り方に関する検討会

働ける時間を 看護力に変える

超短時間勤務制度 「くawaiiナース」の取組

大阪府済生会吹田病院
看護部長 村上 志保

2時間～

週1回から



くawaiiちゃん

従来の勤務条件だけでは、看護力を取りこぼす

病院が求める人材

- フルタイムで勤務できる
- 夜勤を担える
- 固定された勤務日に対応できる

地域にいる看護職

- 長時間勤務は難しい
- 育児・介護と両立したい
- ブランクがあり復職に不安がある

条件が合わないだけで、看護職としての力がないわけではない

2008年、離職が続く危機から制度づくりが始まった

危機

問い直し

制度化

退職届を受け取らない日はない
子育てとの両立困難が退職理由に

師長会ワーキンググループ
自分たちなら、どんな制度が
あれば働けたか

働く側が『働きたい時間』を申請
独自の院内ナースバンクを開始



病院の都合に人を合わせる発想から、働ける条件を起点にする発想へ

本人の希望時間と部署ニーズを、看護部がつなぐ

登録看護職

働ける日・時間を申請
1日2時間以上／週1回から
急な休み可能
eラーニングや院内研修参加
院内保育所の利用



看護部

希望と現場ニーズを
調整
勤務部署を決定



各部署

繁忙時間・必要業務
を提示
当日の役割を明確化

対象：育児・介護中／退職後／ブランクからの復職希望者など

短時間で完結できるように、看護業務を組み替えた

導入当初（2008年）

- 保清
- 環境整備
- 患者搬送
- 記録を伴わない業務



経験・習熟に応じて
拡大

運用を重ねて

- 保清
- 環境整備
- 患者搬送
- 食事介助
- 点滴作成
- バイタル測定
- 検査後観察
- 新人・新規登録者への支援
- カンファレンス参加

経験・習熟に応じて委譲業務を拡大

現場の不安は、小さく始めて運用で解消した

導入時の声

対応

何病棟から？

→ パイロット2病棟（内科・外科）で開始

どう全体へ拡大？

→ 習熟後、他病棟へ順次配置

どう院内へ周知？

→ 説明会・ポスター・名札シール

定時に帰れる設計が、制度への信頼をつくる

1

終わりを設計

何を・どこまで・いつまでに
時間内に終わらない時の
引継ぎも決める

2

余白を確保

勤務終了30～60分前に
主な役割を終える

3

強みを生かす

勤務時間のすべてを
一役割にせず
経験・得意・希望を反映
する

柔軟な勤務は、善意ではなく運用ルールで支える

短時間の支援が、常勤看護師の『看護する時間』を生む

くわいナース本人

復職への心理的ハードルを
下げる
看護職として必要とされる
実感
キャリアをつなぐ

常勤看護師

欠員・繁忙時間を補完
残務・業務量を軽減
受持ち患者に向き合える

組織・患者

患者ケア時間を確保
業務の見える化・標準化
多様な働き方が文化に
なる

人手を足すだけでなく、看護の質を支える時間を生み出す

退職か継続かの二択に、第三の選択肢をつくった

従来

常勤を続ける

退職する



くわいナース

2019年～時点：計16人

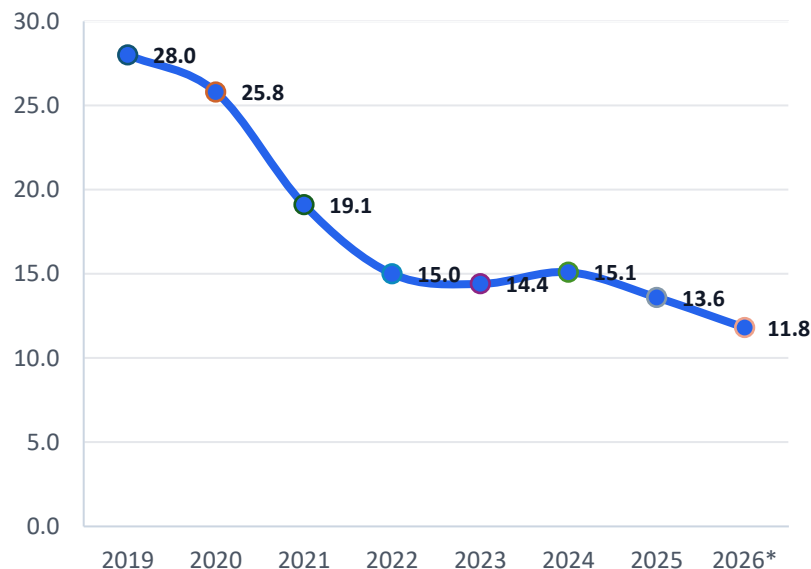
パート10・嘱託3・正規
1・訪問看護2

18年継続できた理由は、制度よりも運用にある

- | | | |
|----|----------|--------------|
| 01 | 小さく始める | パイロット病棟で試行 |
| 02 | 役割を明確にする | 業務範囲・責任・引継ぎ |
| 03 | 現場と更新する | 不安とニーズに応じて修正 |
| 04 | 組織の資源にする | 特定部署に固定せず活用 |
-

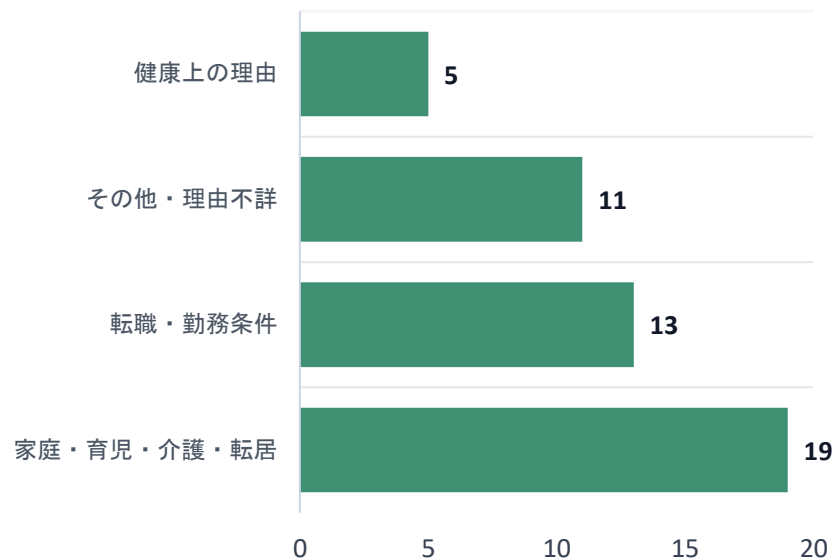
在籍者数は縮小、退職理由は一つではない

年度平均くわいナース在籍者数



2019年度 28.0人 → 2026年度 11.8人

退職届内の退職理由 48件の内訳



家庭・育児・介護・転居 19件（40%）

制度を置くだけでは確保できない
生活上の制約と多様な離職理由の双方に向き合う必要がある

*2026年度は4～8月平均 退職理由：2019年6月～2026年5月に把握した48件を4分類

2040年に向けて、『人数』に加えて『働ける時間』を見る

看護職確保の視点

何人いるか + 何時間なら働けるか

- 週1回・短時間から始められる復職支援
- 短時間でも完結できる業務設計と標準化
- 育児・介護・治療・定年後を含む多様な就業継続
- 地域に存在する潜在的な看護力とのマッチング

いない人を探すだけでなく、
今いる人の力が発揮できる形をつくる

働き方に人を合わせるのではなく、
人が働き続けられる形を組織がつくる

